



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芳賀 一利

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	25,647	9.2	272		305		33	68.6
29年3月期第2四半期	23,496	44.4	349		320		105	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 323百万円 (%) 29年3月期第2四半期 313百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	0.11	
29年3月期第2四半期	0.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	7,443	6,262	88.8	22.82
29年3月期	7,585	6,585	86.7	22.70

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 6,608百万円 29年3月期 6,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	12.8	190		250		30		0.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	289,747,982 株	29年3月期	289,747,982 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	96,994 株	29年3月期	96,267 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	289,651,374 株	29年3月期2Q	289,652,689 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な企業業績に支えられ、景気は回復基調が続いているものの、米国の政策動向や新興国の景気下振れ懸念、為替変動リスク及び朝鮮半島情勢の問題等、依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、米国の政情不安や地政学リスクの高まりから安全資産としての需要が拡大し、総じて上昇基調で推移いたしました。業績につきましては、売上高は、金地金の取引高が当初見込より下回ったものの、コスト削減や生産性の合理化等の採算性の見直しを行ったことから、前年同四半期に比べ増益となりました。不動産市況においては、低金利の継続や政府の景気浮揚策等もあり、不動産価格の上昇が続いております。ビル賃貸業においては、都心の優良オフィスビルでは企業の拡張移転、増床などのオフィスの拡張等により空室率は低水準で推移し、成約賃料においても緩やかな上昇が続いております。こうした中、平成29年5月に販売用不動産(信託受益権)を売却したことが寄与し業績は好調に推移いたしました。機械市況においては、欧米が総じて好調な他、スマートフォン特需等による中国市場の回復により外需は好調に推移し、内需は政府の補助金の効果や自動車や半導体関連の需要が好調であったことから工作機械受注は堅調に推移いたしました。収益改善に向け在庫の適正化を行った結果、業績は低調に推移いたしました。コンテンツ事業においては、全国の小売店やネット通販・自社運営ECサイトにて自社商品を販売の他、各種物販イベントに多数出展しております。また、アニメ製作委員会や番組スポンサーへ積極的に参加し、市場のニーズに合った商品の企画・製作・販売を展開してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は25,647,212千円(前年同四半期23,496,738千円)、営業損益は272,073千円の損失(前年同四半期349,461千円の利益)、経常損益は305,425千円の損失(前年同四半期320,072千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は33,221千円の利益(前年同四半期105,362千円の利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は24,434,503千円(前年同四半期21,827,329千円)、営業損益は78,123千円の利益(前年同四半期20,381千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は1,215,622千円(前年同四半期710,484千円)、営業損益は608,946千円の利益(前年同四半期161,420千円の利益)となりました。

機械事業におきましては、売上高は580,170千円(前年同四半期491,521千円)、営業損益は31,867千円の損失(前年同四半期52,132千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は741,781千円の損失(前年同四半期410,546千円の利益)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は145,675千円(前年同四半期45,565千円)、営業損益は9,246千円の利益(前年同四半期8,042千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より141,470千円減少し、当第2四半期末は、7,443,892千円となりました。

増加の主なものは、現金及び預金の増加(1,362,928千円から1,563,241千円へ200,313千円の増加)、預け金の増加(1,726,219千円から1,833,026千円へ106,807千円の増加)であります。

減少の主なものは、販売用不動産の減少(505,358千円から19,549千円へ485,809千円の減少)であります。

当第2四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より182,116千円増加し、当第2四半期末は、1,181,735千円となりました。

増加の主なものは、デリバティブ債務の増加(274,787千円の増加)であります。

減少の主なものは、長期借入金の減少(249,300千円から179,460千円へ69,840千円の減少)であります。

当第2四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より323,587千円減少し、当第2四半期末は、6,262,156千円となりました。

減少の主なものは、非支配株主持分の減少(9,958千円から△346,828千円へ336,870千円の減少)であります。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より200,313千円増加し、1,563,241千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は272,283千円(前年同四半期は354,054千円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失307,684千円等があったものの、たな卸資産の減少額456,733千円及びデリバティブ債務の増加額274,787千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13,748千円(前年同四半期は6,370千円の使用)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出16,881千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は58,222千円(前年同四半期は155,563千円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出58,200千円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成29年11月9日)公表いたしました「平成30年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,362,928	1,563,241
売掛金	107,737	156,102
商品及び製品	909,317	930,634
仕掛品	203,889	191,437
原材料及び貯蔵品	3,688	14,188
販売用不動産	505,358	19,549
仕掛不動産	—	9,709
預け金	1,726,219	1,833,026
その他	32,700	38,822
流動資産合計	4,851,840	4,756,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,272,568	1,269,898
減価償却累計額	△586,359	△629,301
建物及び構築物 (純額)	686,209	640,597
機械装置及び運搬具	534,898	525,469
減価償却累計額	△440,964	△439,236
機械装置及び運搬具 (純額)	93,933	86,232
土地	1,691,391	1,691,391
その他	112,524	112,744
減価償却累計額	△102,914	△103,276
その他 (純額)	9,610	9,468
有形固定資産合計	2,481,144	2,427,689
無形固定資産		
コンテンツ資産	—	15,327
その他	7,600	6,750
無形固定資産合計	7,600	22,077
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	101,946
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	124,682	117,316
その他	8,943	8,943
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	244,777	237,411
固定資産合計	2,733,522	2,687,179
資産合計	7,585,363	7,443,892

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,227	11,837
短期借入金	150,000	150,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	139,680	151,320
未払金	26,343	35,781
未払法人税等	26,666	38,089
デリバティブ債務	—	274,787
その他	73,751	52,972
流動負債合計	504,669	764,789
固定負債		
長期借入金	249,300	179,460
長期末払金	12,332	8,701
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	17,798	13,236
繰延税金負債	17,598	15,430
資産除去債務	193,968	196,165
固定負債合計	494,950	416,946
負債合計	999,619	1,181,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,248,926	6,248,926
利益剰余金	358,040	391,262
自己株式	△31,182	△31,204
株主資本合計	6,575,785	6,608,984
非支配株主持分	9,958	△346,828
純資産合計	6,585,743	6,262,156
負債純資産合計	7,585,363	7,443,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	23,496,738	25,647,212
売上原価	22,483,135	25,262,450
売上総利益	1,013,603	384,761
販売費及び一般管理費	※ 664,141	※ 656,835
営業利益又は営業損失(△)	349,461	△272,073
営業外収益		
受取利息	12	14
国庫補助金収入	10,283	9,999
保険金収入	985	737
その他	7,026	1,717
営業外収益合計	18,308	12,469
営業外費用		
支払利息	4,358	3,739
休山管理費	40,266	38,319
その他	3,073	3,762
営業外費用合計	47,697	45,822
経常利益又は経常損失(△)	320,072	△305,425
特別利益		
固定資産売却益	259	415
特別利益合計	259	415
特別損失		
固定資産除却損	55	2,673
特別損失合計	55	2,673
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	320,276	△307,684
法人税、住民税及び事業税	8,549	18,048
法人税等調整額	△1,413	△2,168
法人税等合計	7,135	15,880
四半期純利益又は四半期純損失(△)	313,140	△323,565
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	207,777	△356,787
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,362	33,221

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	313,140	△323,565
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	313,140	△323,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,362	33,221
非支配株主に係る四半期包括利益	207,777	△356,787

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	320,276	△307,684
減価償却費	41,082	53,819
受取利息及び受取配当金	△13	△14
支払利息	4,358	3,739
補助金収入	△10,283	△9,999
保険金収入	△985	△737
有形固定資産売却損益(△は益)	△259	△415
有形固定資産除却損	55	2,673
売上債権の増減額(△は増加)	△34,768	△48,364
たな卸資産の増減額(△は増加)	587,988	456,733
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,462	△26,389
未払金の増減額(△は減少)	△7,618	9,438
デリバティブ債権の増減額(△は増加)	△249,000	—
デリバティブ債務の増減額(△は減少)	25	274,787
預け金の増減額(△は増加)	△280,165	△106,807
その他	△4,001	△18,375
小計	364,229	282,404
利息及び配当金の受取額	13	14
利息の支払額	△4,358	△3,739
補助金の受取額	10,283	9,999
保険金の受取額	985	737
法人税等の支払額	△17,098	△17,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	354,054	272,283
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,631	△4,265
有形固定資産の売却による収入	280	415
無形固定資産の取得による支出	—	△16,881
敷金及び保証金の差入による支出	△4,244	△506
敷金及び保証金の回収による収入	1,249	7,489
その他	△25	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,370	△13,748
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△69,840	△58,200
自己株式の取得による支出	△1	△22
非支配株主への分配による支出	△85,721	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155,563	△58,222
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	192,120	200,313
現金及び現金同等物の期首残高	902,973	1,362,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,095,094	※ 1,563,241

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	21,827,329	702,469	491,521	424,811	45,565	5,041	23,496,738
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	8,015	—	—	—	—	8,015
計	21,827,329	710,484	491,521	424,811	45,565	5,041	23,504,753
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	20,381	161,420	△52,132	410,546	△8,042	5,041	537,215

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	23,496,738
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	△8,015	—
計	△8,015	23,496,738
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△187,753	349,461

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,753千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△187,753千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	24,434,503	1,207,607	580,170	△726,005	145,675	5,260	25,647,212
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	8,015	—	—	—	—	8,015
計	24,434,503	1,215,622	580,170	△726,005	145,675	5,260	25,655,227
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	78,123	608,946	△31,867	△741,781	9,246	5,260	△72,071

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	25,647,212
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	△8,015	—
計	△8,015	25,647,212
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△200,001	△272,073

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△200,001千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△200,001千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、従来の報告セグメントである「貴金属事業」と「宝飾事業」の区分を統合して、「貴金属事業」セグメントに区分しております。これは、営業強化を図るため事業部の再編を行い貴金属部と宝飾部の統合したことによるものです。

また、「その他」に含まれていた「コンテンツ事業」について、事業規模が拡大し、経営における重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。